

A 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

M

小倉山百人一首

洋学文庫
文庫8
J370

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Tajima

10

JAP

三光の月
 秋の月
 みるる
 うるの
 ころを
 ひるの
 ひるの
 そひけり



三光
 和子の月
 日



天
 つる
 けふ
 けふ
 たま
 ひるの
 けふ

持統天皇

春こそて夏まよ

けし

白妙の

衣不まてふ

あまの

かぐやま



柿本人麿

足曳の

山とりの

との

まごりをは

あがくし

ひとりかえねん



やまべのあつひと
山色赤人

田子けうふ

うらやまてふれが
白物の

富士乃

うらやま
やまべのあつひと



さるまのどらふ
後凡大夫

あやま
あまふ

のまぢ
あみうけ

ちやく麻の

あまふ
あまふ



ちうあんやうりち
仲納云家持
昔のころは
オホいれ
とくあいの
あうきと
まじりぬ
あけより



あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



五世せんごの
法行ほっけい

つぎを
みだこ
半はんち
あうを
すむ
よとち
人を



小野小町おののこまち

花はなの色いろは
うらうら
なりな
つづ
つが
る



蟬丸

あまのつり糸
ゆくも
つるも
つるれて
あつものあつぬも
あまのつり糸



あまのつり糸

あまのつり糸

あまのつり糸
あまのつり糸
あまのつり糸



河原丸大臣

みちのくの

あのをぢぎさう

みぢ

みぢ

そのあ

うらま



先孝天皇

君が

あつむ

の

あつむ

あつむ

あつむ



ちうまごんあきひら
 中納言の平
 ちうまごんあきひらの
 山代岩
 あつる
 まつとまらふ
 今あつるあん



十三

ちうまごんあきひら
 左近衛平朝臣
 ちうまごんあきひら
 山代岩
 あつる
 まつとまらふ
 今あつるあん



あつちのうらまへ
あふるぬはつち

すま
何のゆゑ

まきいふ

よるるま

よるるま

あはかひのひら

人りよらん



いせ
伊勢

あふ
浪波

まき

あ
あ

まき

あ
あ

まき



のこころいあんま
元良親王

わびぬま

今ま

ある

たふあある

あまはく

あんとま



そせいあり
素性法師

今まむといひ

たふあある

あまはく

あまはく

あまはく



老のやすひで
文隆唐秀

秋乃

手本の

あはれ

あしとらえん

あしとらえん



大に千里

解

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



菅原家

大のたびき

ゆきも

とり

あふま

のほろり
秋のまおく



三條右大臣

あふま

あふま

あふま

あふま

あふま
あふま



源宗平干親臣

山部

山部

山部

山部

山部



凡河内躬恒

公あて

を

を

初

あ

あ



きおのいふまじ
壬生忠岑
まのの
つれま
アキ
つれより
あつめき
とまのいあ



はらのうのたれの
坂上足利
あき
あつめき
あつめきの月と
あつめきのま
あつめきの
あつめきの
あつめきの



春道列樹

山川の風

かけら

あふ

なま

あふ

のまら



紀友別

久

の

の

表の

あ

あ



黄原無風

誰をそとく

ある人ふせん

言の

松も

ひし

直る



紀伊

人

あり

あり

ある

香

の



清原源朝の父
 其の妻の位はまづ
 らるる
 母の位はまづ
 らん



文隆朝康
 其の妻の位はまづ
 らるる
 母の位はまづ
 らん





参儀等

あさぢの

をの

あはれ

あはれ

あはれ



おん

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

平義盛

あのがまこと

いふなり

あふなり

つぎこひ

りのや

あのみと

あふなり



壬生忠元

あふなり

あふなり

あふなり

あふなり

あふなり

あふなり

あふなり



あふなり

きよらるのしとす
清原元捕
まきまねくさ
袖と志願のう
まゝの
あふ山
かき
あつたしとさ



女

ちうまさんあつと
中納言致忠
あふ又くの
腰のひふ
うさお
ひふ
れおのさうら



中納言 綱吉

河内 守屋

半蔵

あき

中

人

あき



藤 徳公

あき

あき

あき

あき

あき

あき



そねのすけ
曾孫好忠

ゆらぎと疾
けしおと人
わらとてえ
けきもあしぬ
あひみちるれ



あせいのちゅう
夏夢法師

ハキとむら
あがまる
やどの
まじりまふ
人あそびえん
秋とあまらる



源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之



源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之





幾同三白母

こまきまの

ねまき

かき

けふ

命



命

大納言公任

大納言

久

久

久

久

久



和泉式部

何くぞうし

との世に

そのれ

ありひき

今世とらびの

あはともが



世式部

めぐりあひ

らんやてれとも

りる取やふ

長かたれ

夜守の

母の那



母



大武三佐
ありまやま
 有るの山
いふは
 風ふけは
つとそよ人を
 つとそよれ
 やらまらる



ありまやま
 志深湯門
 登まらりて
 極るまら
ありまやま
 ののま
ありまやま
 かあくまその
 風とらんくね



下

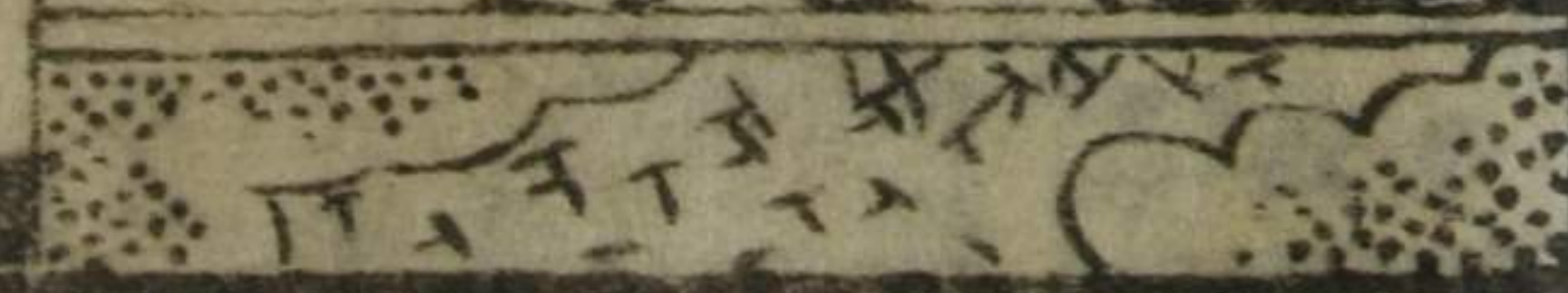
こゝろのまじり
 火多内結
 大い山のくの
 とちりあふ
 とすれれ
 おごふ
 へんばあま
 は



いせのが
 俣勢大捕
 以新
 みるの
 みわら
 心
 けふ九
 白ひあ



相換
 根
 子
 袖
 急
 名



持中納言
 朝
 川
 三
 あ
 影
 あ



前大佛西行記

まごころのふ

ありまじく

あひ

山ゆき

花よの月ふ

あつん

あ



周防肉信

まごころのふ

あひ

あ

あ

あ

あ



あ



きんぎょの丸
三條院

あつらふゆ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ



あ

能因法師

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ



あ

良暹法師

のりきま
あまの
くまの
たれ
づち
たれ
たれ



大納言信

おとつれ
のまろや
秋風



ゆづり みるき とうり け
結子内親王家
かと
考のきく
たうり け
たうりの
あざむらむら
うきや 袖の
ぬれも こそ きれ



うたのちうり みるき とうり け
若中納言區
高砂の
とりのの
あくら
さくら みるき
外との みるき
たうり みるき



源後頼朝

うゑのけ

人頭

そのせの

山たろ

はまのり

いのもを



源系基俊

契抄

あまを

のたま

秋もいぬ



法燈寺入道親國白
和國の
大政大臣
ひきつきの
くまの
たきりあうまき



崇徳院
せ
岩小
せ
河の
逸んとを必ふ



源兼昌

淡路の海

千名

海



秋風

秋風

たるびく

あま

の

糸



待賢門院握川

あがりらんねも
あうの
みさされて
はらぬの
こそたぬ人



後深大寺大女

月とてま
あはつる
のこ
ちりぐれら
ありあけ
寺とて有明乃
月とてのま



PLP

PLP

道周法師

おのひつらび

たつともあふ

あふのひ

らま

たつあふ

あふのひ



白太后之幸の傍城

世の中よ

みちよ

あふれあふ

あふのひ

あふのひ



あつらひのまよひすけあそん
菘菜法彌軒

なつこくへんまご
てのちぢりや
あそんれん
うーと
あつらひ
今まはひ



喜んあそん
俊高法師

夜もまご
ののせり
あつらひ
あつらひ
あつらひ
あつらひ



八〇

八〇

西の法師

あはれとて
ののち
あはれとて
あはれとて
あはれとて
あはれとて
あはれとて



赤蓮法師

あはれとて
あはれとて
あはれとて
あはれとて
あはれとて
あはれとて
あはれとて



きりぎりすのりえのうらみ
白雲の門院別当

源波の

の松の

ひとよあ

身とけうて

怒りてるが



四

式三内親王

おの供よ

えんち

たの

あが

おの

よりの



後京極院政
 後醍醐天皇
 後深草院
 後花園院
 後光厳院
 後崇光院
 後隆光院
 後光厳院
 後崇光院
 後隆光院



般首門院
 般首門院
 般首門院
 般首門院
 般首門院
 般首門院
 般首門院
 般首門院
 般首門院
 般首門院



小太夫のあんなさま
 一 條院 後波
 我袖の志月ひふ
 仲のるの
 人こそあらね
 かのく
 まるる



彌倉右大臣
 世の仲を
 かのく
 供あ
 あまの
 つあてが



先^{せん}ぎ^ぎは^はき^き子^こ
参^ま織^お推^い經^{けい}

み^みの^のの^の
山^{やま}秋^{あき}風^{かぜ}

更^{さら}て

あ^あら^らき^きを^を

衣^いの^のあ^あり

衣^いの^のあ^あり



さ^さの^のい^いま^まき^きト^トあ^あん
参^ま大^{だい}佛^{ぶつ}雲^{うん}園^{えん}

わ^わ不^ふけ^けな^なり

う^うた^たの^の

氏^{うぢ}子^こあ^あや^やふ

う^う邪^{じゃ}

わ^わた^たの^の袖^{そで}

黒^{くろ}き^きの^の袖^{そで}



入道兼大政大臣

死

あり

庭の雪

る

あり

つが



持中納言定家

あぬ人を

あぬ

あぬ

あぬ

あぬ

あぬ



幸うまゐりて
 一山三任家隆
 風そよみ
 あらば小川
 申ふれり
 みとぎ
 夏乃あや
 ありあわ



後いとむねの羽院
 人もと
 ひとまう
 あら
 せむ
 せむとあふ由
 ものあふ小川



順德院

百敷

新編

後
むりりる



飛五百人一首 冊同 大全日巧

常盤百人一首 中本袋二冊

小倉山雛形百人一首 小本袋

雛本源氏物語繪盡 全一冊

十代若鶴百人一首 全一冊

地本向屋 江戸曼神明前 和泉屋市兵衛板



